

- 国際規格（ISO 11819-2: 2017※）に基づき、道路交通騒音に及ぼす路面やタイヤの影響を測定・評価可能
 - ※ Measurement of the influence of road surfaces on traffic noise, Part 2: The close-proximity method
- トレーラを用いることにより、周囲環境の影響を受けにくい状態で測定が可能
- ナンバー取得済みのため、一般道（国道、専用自動車道など）での測定が可能

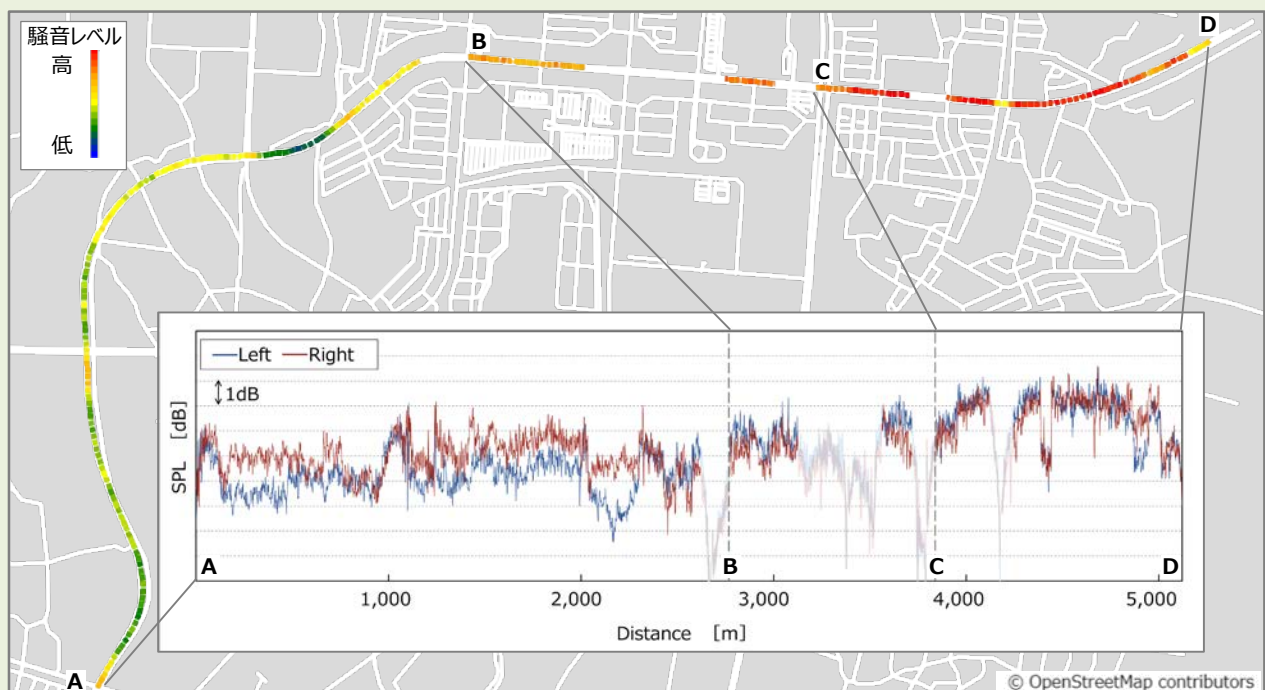
道路交通騒音やタイヤ/路面騒音に及ぼす以下の条件の影響を評価可能

- 舗装種類（密粒、排水性など）
- 路面コンディション（劣化度合いなど）
- タイヤ種類（トレッドパターンなど）

CPXトレーラ（ISO 11819-2: 2017 準拠）



測定結果の例



計測システムの構成、CPXトレーラの仕様



CPXトレーラ
 寸法: 全長3.4 m × 全幅2.0 m
 輪距: 1.5 m
 重量: 730 kg



計測システム

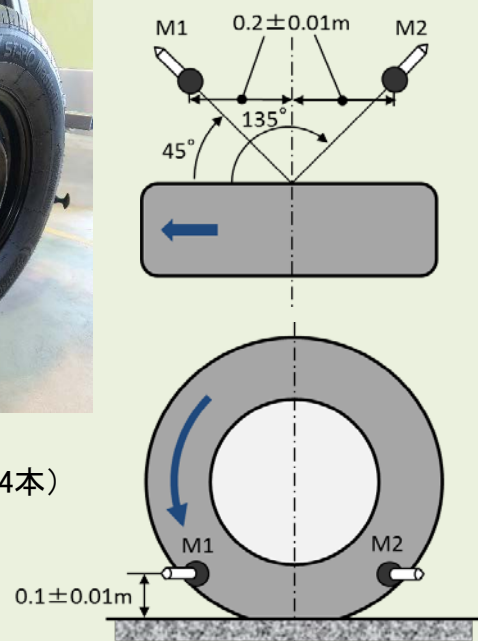
- ・騒音レベル(タイヤ近接位置)
- ・気流温度、路面温度
- ・走行速度
- ・位置情報



CPXトレーラ

- ・マイクロホン(左右各輪2本(前後)、計4本)
- ・路面温度センサ

測定位置



準拠規格 (ISO 11819-2: 2017) の主な規定

項目		規定
基準条件	基準タイヤ	P1, H1
	基準速度	50, 80, 110 km/h
	基準温度	20°C
測定周波数範囲		315 Hz ~ 5000 Hz
タイヤの設定	荷重	3200 ± 200 N
	空気圧	200 ± 10 kPa
気象条件	気温	5°C ~ 30°C

基準タイヤ

P1
 SRTT(ASTM F2493)
 P225/60R16
 乗用車用タイヤの音響的特性を代表



H1
 AVON AV4
 195R14C
 重量車用タイヤの音響的特性を代表

